

鳥獣被害対策の充実強化

取りまとめ担当課
鳥獣被害対策支援センター
027-371-0003

県内の鳥獣被害 平成26年度

農業被害 約424百万円(前年比 109%)

林業被害 約414百万円(前年比 69%)

地域ぐるみで被害対策に取り組んだ地域では、効果は現れてきている。

一方、県全体では被害地域は拡大傾向にあり、被害は依然として高い水準にある。

H28予算額 634,016千円

獣種や被害の実態に応じた計画的な捕獲を強力に推進

地域が主体となった被害対策を総合的に支援

捕
る
対
策

■捕獲推進：208,032千円

市町村と連携した計画的な捕獲、生息エリアに応じた効率的な捕獲等の推進により捕獲圧を強化

○捕獲目標に基づく計画的な捕獲	3,804千円	
○コロニーにおけるカワウの捕獲	15,224千円	
○高密度生息地域におけるシカの捕獲	40,625千円	
・赤城山麓、神津牧場、尾瀬、浅間牧場		
○林業者等の捕獲支援等	2,784千円	
○効率的で安全な捕獲技術の開発・実証	2,972千円	
○鳥獣被害対策事業(市町村の捕獲事業等支援)	125,500千円	
○狩猟免許試験・技術講習会	3,572千円	ほか



(わなによる捕獲)

守
る
対
策

■防護対策、生息環境管理：407,628千円

地域が主体となった地域ぐるみの被害対策を総合的に支援

○鳥獣害に強い集落づくり支援	4,902千円
○鳥獣被害防止総合対策交付金(市町村の主体的な取組を支援)	140,000千円
○農林地等への野生動物侵入防止等対策	262,726千円
・小規模農村整備事業、農山漁村地域整備交付金等	
・補助公共造林事業等	
・河川維持補修	ほか



(防護柵設置作業)

知
る
対
策

■調査、研究、人材育成：18,356千円

技術開発等による効果的な被害対策、体系的な人材育成の実施

○被害対策の人材育成	831千円	
○広域等連携の推進	449千円	
○日本獣医生命科学大学との連携	10,000千円	
・新たな対策技術等の開発		
○鳥獣保護区等における鳥獣類の生息状況調査	859千円	ほか



(被害対策研修会)

農林業者、地域が被害減少を実感できる対策の実現